

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公開番号】特開 2005-275068 (P2005-275068A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-039
 【出願番号】特願 2004-89292 (P2004-89292)
 【国際特許分類】

G 1 0 L 11/00 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 7/02 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 7】

そして、C (ド) の音程から B (シ) まで 1 2 の音程ごとの区切りを 1 オクターブとするので、オクターブ 4 の周波数範囲は、C4 の周波数範囲の最低周波数から B4 の周波数範囲の最高周波数 (オクターブ 5 の周波数範囲の最低周波数) までの、5 0 8 . 6 Hz 乃至 1 0 1 6 . 7 Hz である。なお、本実施の形態において、周波数に関する f_a [Hz] 乃至 f_b [Hz] の記載は、 f_a [Hz] 以上 f_b [Hz] 未満を表すものとする。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 1 2 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 1 2 6】

上述した実施の形態では、C (ド) の音程から B (シ) まで 1 2 の音程ごとの区切りを 1 オクターブとしたが、1 オクターブは、その他の音程の区切りでもよい。例えば、F (ファ) の音程から E (ミ) の音程までを区切りとした場合も、周波数は対数の分布となるので、1 オクターブといえることができる。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】図面
 【補正対象項目名】図 1 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【図 13】

図 13

